

# ロタウイルスワクチン



## 【ロタウイルスについて】

ロタウイルスは、乳幼児にみられる胃腸炎の主な原因のひとつです。多くの場合は、突然の嘔吐、発熱に続き、水溶性下痢を起こします。小児の場合は、1/3 程度の割合で 39℃以上の発熱を伴い、回復には1 週間ほどかかります。ほとんどの場合は、特に治療を行わなくても自然に回復します。しかし、まれにけいれんや脳炎・脳症を引き起こすことがあり、脱水症状が強い場合や重症化すると入院が必要となることがあります。本人だけでなく家族の負担も大きい疾患です。

## 【ワクチンについて】

ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防します。ロタウイルスワクチンは2 種類あり、どちらも生ワクチン（弱毒化したウイルス）で、飲むワクチンです。医療機関で相談し、どちらかのワクチンを選んでください。

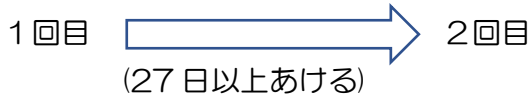
**2 種類とも、予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なります。**なお、途中からワクチンの種類を変更することはできませんので、最初に接種したワクチンを 2 回目以降も接種します。

初回 1 回目の接種は、生後 6 週 0 日後から接種できますが、標準的な接種時期とし、生後 8 週 0 日後からの接種を勧めています。生後 15 週 0 日以降の初回接種はお勧めしていません。（厚生労働省による）

このワクチンは、ロタウイルス胃腸炎の発症そのものを 7～8 割減らし、入院するような重症化は、そのほとんどが予防できます。ただし、ロタウイルス以外の原因による胃腸炎には予防効果を示しません。

**1 価：ロタリックス【接種時期】**生後 6 週から 24 週（2 回接種）

【接種回数】2 回接種（27 日以上の間隔をあける）



**5 価：ロタテック【接種時期】**生後 6 週から 32 週（3 回接種）

【接種回数】3 回接種（27 日以上の間隔をあける）



※どちらのワクチンも、生後 6 週 0 日後から生後 14 週 6 日後までに初回接種をしてください。

※どちらのワクチンも、接種後（特に 1～2 週間）は腸重積症<sup>ちようじゅうせきしょう</sup>の症状に注意してください。

## 【ワクチンを接種する前】

赤ちゃんのお腹がいっぱいだと、上手にワクチンが飲めない場合がありますので、接種前 30 分ほどは授乳を控えることをおすすめします。上手に飲めるよう、医師、看護師の指示に従ってください。なお、ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりしてしまった場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題はありませんので、再度接種する必要はありません。

## 【接種できない場合】

明らかに発熱（通常 37.5℃以上）している、重度の急性疾患にかかっている、過去に同じワクチンで強いアレルギー反応が出た等は、接種することができません。また、未治療の先天的な消化管障害のある人や、過去に腸重積症をおこした人、重症複合型免疫不全（SCID）のある人も、接種できません。このほかにも、接種を中止したり、延期したりしたほうがよい場合もありますので、医師と相談してください。

## [腸重積症について]

腸重積症とは、腸の一部が腸の他の部分に入り込み、腸が閉塞した状態のことです。ロタウイルスワク

チンの接種の有無にかかわらず、主に0歳のお子さんにかかることがある病気です（日本では0歳児で年間約

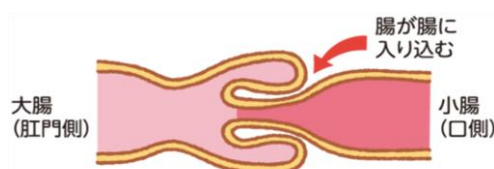
1,000人が発症します）。主な症状は、嘔吐を繰り返す、泣いたり、不機嫌になったりを繰り返す（お腹の痛

みのため、激しく泣いたり、不機嫌になったりしますが、痛みが出たりおさまったりを繰り返すので、症状がない

ときもあります）、ぐったりとして元気がない、血便（粘液と血が混じったような便）が出るなどです。腸重積症

は、手術が必要になることもありますが、発症後、早く治療すれば、ほとんどの場合、手術をせず治療できます。

腸重積のイラスト（厚生労働省提供）



## 【接種後の注意・副反応について】

接種直後は、医療機関で30分ほど様子を見てから帰宅してください。ワクチン接種後2週間ほどは、赤ちゃんの便の中に、ワクチンのウイルスが含まれることがあります。おむつ交換の際は、丁寧に手を洗ってください。また、副反応として、ぐずり、下痢、咳、鼻水、発熱、嘔吐、胃腸炎などがあらわれることがあります。特に、接種後1～2週間は、腸重積症の症状に注意し、症状が見られた際には、速やかに医療機関を受診してください。

**△泣きたい不機嫌になったりを繰り返す、嘔吐を繰り返す、ぐったりして顔色が悪くなる、血便がでる**  
このような症状に気づいたら、速やかに接種した医療機関を受診してください。接種した医療機関とは別の医療機関を受診する場合は、このワクチンを接種したことを医師に伝えてください。